

言語学

注意：日本語を母語としない受験者は英語で解答することも可能です。

（１）日本語の二重主語構文（例：「象は鼻が長い」、「魚は鯛が美味しい」）の文法的・意味的特徴を 1 ページ程度で記述しなさい。

（２）音節 (syllable) とは何か、国際音声記号 (IPA) の補助記号 [ˌ] (短い縦棒) および [˘] (下向きの半円) の機能を踏まえつつ、音声学的観点から 1 ページ以内で述べなさい。

（３）次の表に挙げる 9 つの言語 A～I はいずれも同じ語族 X に属する言語であり、その語族の語派 (branch, subgroup) である P, Q, R, S のいずれかに属する。次の表は、各言語において遠称指示代名詞（彼、彼女、それ等）が性と数によってどのような語形を取るかを示したものである。なお ā, ǝ は長母音を、ṇ は歯茎子音を、ɖ, ɗ, ɳ は反舌子音、y は硬口蓋接近音 [j] を表す。

		単数			複数		
語派	言語名	人間の男性	人間の女性	人間以外	人間の男性	人間の女性	人間以外
P	A	avan	aval	atu	avar		avay
	B	avanu	aval	adu	avaru		avu
	C	aθ			aθām		
Q	D	vāṇḍu	adi		vāru		avi
	E	ōr	ad		ōrk	av	
R	F	ōṇḍ	ad		ōr	av	
	G	avnd	ad		avr	adav	
S	H	ās	ād		ār		ād
	I	ōd			ōfk		

これらの言語の情報をもとに語族 X の祖語の遠称指示代名詞を再建した場合、最も祖語に近い性・数の体系をもつと考えられる言語（複数でもよい）を挙げ、その理由を 1 ページ以内で述べなさい。その際、「改新 (innovation)」「経済的な」という語を用いるとよい。なお音変化の考察や祖語の語形再建の必要はない。

もしどの言語が祖語に近いか決定できない場合は、複数の可能性を示した上で、そのそれぞれにどのような長所や問題点があるかを述べること。

（４）フィールドワークにおいて以下のような言語データが得られた。この言語データにおいて観察できるヴォイス現象について形式と意味の両面から 1 ページ程度で記述しなさい。なお、記述において重要だと考える用語についてはその定義を明らかにしたうえで使用しなさい。

（次頁に続く）

1. jigalago	私が歩いた
2. jigalana ibae	女が歩いた
3. tigurugo	私が寝た
4. higimawna imoe	果物が熟れた
5. kigaengo ogmoe	私が果物を食べた
6. kigaenna ibae ogmoe	女が果物を食べた
7. pigakona ibae oggo	女が私を見た
8. pigakogo ogbae	私が女を見た
9. rikaenna imoe	果物が食べられた
10. ripakogo	私が見られた

(5) 以下の言語学用語を、例を挙げつつ簡潔に説明しなさい。

- (a) 有生性 (animacy)
- (b) アクセントと声調 (accent and tone)
- (c) 文法性 (grammatical gender) と類別詞 (classifier)
- (d) 意味役割 (semantic roles)

【以上】